

310 UAV（無人航空機）を利用した、がけ崩れ危険箇所監視システム

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
AS 口カス株式会社 【平成 28 年】	1010001022850	その他防災関連事業者 【情報通信業】	千葉県
<ul style="list-style-type: none"> ● 近年、局地的な大雨の発生等で「がけ崩れ災害」が増加し、国や自治体等によって、センサーを使用したがけ崩れ危険箇所の監視が行われている。しかし、1ヶ所のがけ崩れ危険箇所に複数のセンサーを設置する必要があり、設置作業も含めると費用がかかる上、「がけ崩れ危険箇所が複数あり、全体をカバーできない」、「作業者が近づくことが困難な、がけ崩れ危険箇所がある」といった課題が残されている。 ● また設置型の観測器の場合、予め危険性が分かっている場所のみに設置範囲に限られるが、UAV を活用することにより、広範囲ながけ崩れ危険箇所の監視が可能となり、新たな危険箇所の監視追加にも柔軟に対応できる点が利点と同社は考えている。同社では従来の設置型と UAV の併用によって地域の災害監視システムの構築を進める。 ● 同社は、東京情報大学(千葉市)との連携を深めながら、UAV（無人航空機）を使用し、航空機に搭載したカメラにより、上空からがけ崩れ危険箇所の撮影を定期的に行い、地表変化・標高変化等を検出して監視を行うシステムの試作開発を行っている。 			